

## 活動の記録

### 日本バイオフィルム学会

(第 28 回までは Bacterial Adherence & Biofilm)

日本バイオフィルム学会		会 長	事 務 局
第 1 回	1987 年	小酒井 望	日本大学医学部第三外科細菌研究室
第 2 回	1988 年	〃	〃
第 3 回	1989 年	中山 一誠	〃
第 4 回	1990 年	横田 健	〃
第 5 回	1991 年	〃	〃
第 6 回	1992 年	〃	〃
第 7 回	1993 年	〃	〃
第 8 回	1994 年	〃	〃
第 9 回	1995 年	〃	〃
第 10 回	1996 年	〃	〃
第 11 回	1997 年	中山 一誠	〃
第 12 回	1998 年	〃	〃
第 13 回	1999 年	〃	〃
第 14 回	2000 年	〃	〃
第 15 回	2001 年	〃	〃
第 16 回	2002 年	〃	バイオサイエンス研究所
第 17 回	2003 年	〃	〃
第 18 回	2004 年	〃	〃
第 19 回	2005 年	〃	〃
第 20 回	2006 年	〃	〃
第 21 回	2007 年	神谷 茂	杏林大学医学部感染症学
第 22 回	2008 年	〃	〃
第 23 回	2009 年	〃	〃
第 24 回	2010 年	〃	〃
第 25 回	2011 年	〃	〃
第 26 回	2012 年	〃	〃
第 27 回	2013 年	〃	〃
第 28 回	2014 年	〃	〃
第 29 回	2015 年	〃	〃
第 30 回	2016 年	〃	〃
第 31 回	2017 年	〃	〃
第 32 回	2018 年	〃	杏林大学保健学部長
第 33 回	2019 年	〃	〃
第 34 回	2020 年	野村 暢彦	筑波大学生命環境系 野村暢彦研究室
第 35 回	2021 年	〃	〃
第 36 回	2022 年	〃	〃
第 37 回	2023 年	〃	〃

# 日本バイオフィルム学会 学術集会

(第 28 回までは Bacterial Adherence & Biofilm)

日本バイオフィルム学会		学術集会会長	学術集會事務局
第 1 回	7 月 4 日(土)	小酒井 望	日本大学医学部第三外科細菌研究室
第 2 回	7 月 2 日(土)	〃	〃
第 3 回	7 月 1 日(土)	中山 一誠	〃
第 4 回	7 月 7 日(土)	横田 健	〃
第 5 回	7 月 13 日(土)	〃	〃
第 6 回	7 月 4 日(土)	小林 宏行	杏林大学医学部第一内科学教室
第 7 回	7 月 17 日(土)	中山 一誠	日本大学医学部第三外科細菌研究室
第 8 回	7 月 2 日(土)	島田 馨	東京専売病院
第 9 回	7 月 1 日(土)	五島瑛智子	東邦大学医療短期大学
第 10 回	7 月 6 日(土)	横田 健	順天堂大学医学部附属浦安病院
第 11 回	7 月 12 日(土)	熊澤 淨一	九州大学医学部泌尿器科学教室
第 12 回	7 月 11 日(土)	荒田 次郎	岡山大学医学部皮膚科学教室
第 13 回	7 月 17 日(土)	大井 好忠 (後藤俊弘代行)	鹿児島大学医学部泌尿器科学教室
第 14 回	7 月 8 日(土)	益田 昭吾	東京慈恵会医科大学微生物学第二
第 15 回	7 月 14 日(土)	山本 達男	新潟大学医学部細菌学教室
第 16 回	7 月 13 日(土)	那須 勝	大分医科大学内科学第二講座
第 17 回	7 月 5 日(土)	公文 裕巳	岡山大学大学院医歯学総合研究科泌尿器病態学
第 18 回	7 月 3 日(土)	岡田 淳	NTT 東日本関東病院臨床検査部
第 19 回	7 月 1 日(金)~2 日(土)	松本 哲朗	産業医科大学医学部泌尿器科
第 20 回	7 月 7 日(金)~8 日(土)	中山 一誠	帝京平成大学薬学部
第 21 回	7 月 7 日(土)	辻 明良	東邦大学医学部看護学科感染制御学
第 22 回	7 月 4 日(金)~5 日(土)	三宅洋一郎	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
第 23 回	7 月 11 日(土)	金子 明寛	東海大学医学部口腔外科
第 24 回	7 月 9 日(金)	神谷 茂	杏林大学医学部感染症学
第 25 回	7 月 8 日(金)	水之江義充	東京慈恵会医科大学細菌学講座
第 26 回	7 月 13 日(金)	天野富美夫	大阪薬科大学学生体防御学研究室
第 27 回	7 月 12 日(金)	神谷 茂	杏林大学医学部感染症学
第 28 回	7 月 9 日(水)	松本 哲哉	東京医科大学微生物学講座
第 29 回	7 月 10 日(金)~11 日(土)	吉村 文信	愛知学院大学歯学部微生物学講座
第 30 回	7 月 2 日(土)	小林 寅詰	東邦大学看護学部感染制御学講座
第 31 回	7 月 7 日(金)~8 日(土)	野村 暢彦	筑波大学生命環境系
第 32 回	7 月 27 日(金)~28 日(土)	池田 幸	宇都宮大学大学院工学研究科
第 33 回	7 月 5 日(金)~6 日(土)	渡邊 浩	久留米大学医学部感染制御学講座
第 34 回	8 月 28 日(金)~29 日(土)	松本 壮吉	新潟大学医学部医学科細菌学講座

第 35 回	8 月 27 日(金)～28 日(土)	常田 聡	早稲田大学先進理工学部生命医科学科
第 36 回	9 月 24 日(土)～25 日(日)	館田 一博	東邦大学医学部微生物・感染症学講座
第 37 回	8 月 26 日(土)～27 日(日)	泉福 英信	日本大学松戸歯学部感染免疫学講座

**日本バイオフィルム学会 特別講演・招請講演**  
(第 28 回までは Bacterial Adherence & Biofilm)

特別講演・招請講演		講演タイトル
第 1 回	John W. Costerton (Calgary University)	The Role of Glycocalyx
第 2 回	今栄 康雄(名古屋大学)	細菌の感覚と機能
第 3 回	Itzhak Ofek, Edwin H. Beachey (Tennessee University)	Bacterial Adhesion : Ligand Receptor Interactions Mediating The Adhesion of Bacteria to Epithelial Cells
第 4 回	天児 和暢(九州大学)	細菌線毛の構造とその遺伝子支配
第 5 回	Ten Feizi (Glycoconjugates Section, MRC)	Novel Approach to Identifying Oligosaccharide Structures that Mediate Bacterial Adherence
第 6 回	John W. Costerton(Calgary University)	The Nature and Control of Bacterial Adherence to Medical device
	H øiby. N. (Copenhagen University)	Immunological Role of Glycocalyx and Bacterial Biofilms
第 7 回	Asa Ljungh (Lund University)  塚越 茂(癌研究所)	Connective Tissue Protein and Glycosaminoglycan Binding Expressed by <i>Staphylococcus aureus</i> and Coagulase negative Staphylococci 癌転移研究 ―最近の展開―
第 8 回	水落 次男(東海大学)	糖蛋白質糖鎖と細胞認識
第 9 回	松本 慶蔵(長崎大学)	新しい抗ウイルス剤 ―Neuraminidase 被包薬 (inhibitor)―GG167
第 10 回	熊本 悦男(札幌医科大学)	尿路性器感染症治療学からみた細菌付着と宿主 反応
第 11 回	Hugh Connell(Lund University)	Adherence and the Pathogenesis of Urinary Tract Infection
第 12 回	公文 裕巳(岡山大学)	バイオフィルム感染症は制圧できるか？
第 13 回	Catharina Svanborg(Lund University)	Innate Defences and Resistance to Gram negative mucosal infection
第 14 回	笹川 千尋(東京大学医科学研究所)	赤痢菌と宿主細胞の相互作用
第 15 回	小林 宏行(杏林大学)	微生物の長期付着と生体反応
	Manred Kist (University of Freiburg)	<i>Helicobacter pylori</i> – a survival specialist in a

		hostile environment
第 16 回	小林 宏行(杏林大学)  舘田 一博(東邦大学)	国際会議 Medical Biofilms 2002 報告書 —Biofilm 研究の最前線— Quorum sensing 機構 —バイオフィルム形成と生体反応を制御するシステム
第 17 回	Philip S. Stewart (Montana State University)	Frontiers of Biofilm Research
第 18 回	光岡 知足(東京大学) 中山 一誠(帝京平成大学)	腸内フローラとプロバイオティクス Biofilm 研究の動向(Biofilm 2003 を中心に)
第 19 回	服部 正平(北里大学) 公文 裕巳(岡山大学)	病原微生物ゲル研究の現状 尿路とバイオフィルム
第 20 回	小林 宏行(杏林大学) 中山 一誠(帝京平成大学)	細菌長期定着による感染症の変貌 Bacterial Adherence の軌跡 —過去、現在、未来
第 21 回	神谷 茂(杏林大学)  高鳥 浩介(東京農業大学)	バイオフィルム感染症の発症基盤 —急性感染・慢性感染の振り分けシステム— 真菌とバイオフィルム —古墳壁画のバイオフィルムから学ぶこと—
第 22 回	該当なし	
第 23 回	Pradeep K. Singh (University of Washington School of Medicine) 池田清彦(早稲田大学)	Lessons from Lactoferrin, New Anti-infective Strategies that Target Bacterial Metabolism 共生する生物たち —微生物から生態系まで—
第 24 回	小林 宏行(杏林大学) 池田 幸(宇都宮大学)  Jean-Marc Ghigo  Fitnat Yildiz Reuben Ramphal  Kazuhiro Tateda  Niels Høiby	Biofilm – 研究の軌跡と展望 – 魚病細菌と植物病原細菌の Quorum Sensing と バイオフィルム形成能 Long-distance Control of Antibiotic Resistance by a Biogenic Volatile Compound Produced by Bacterial Communities Molecular Basis of Biofilm Formation in <i>Vibrio cholerae</i> The Role of the Type II Secretion System in Death Due to <i>Pseudomonas aeruginosa</i> Lung Infection. New Insight in <i>Pseudomonas</i> Quorum-sensing System for Interspecies Communication and Novel Therapeutic Strategy <i>Pseudomonas aeruginosa</i> Lung Infection and Biofilm – Experience from Cystic Fibrosis Patients
第 25 回	堀 克敏(名古屋大学) Bernt Eric Uhlin(Umeå University)  Sun Nyunt Wai(Umeå University)	バクテリオナノファイバーによる細菌の細胞接着 Regulation of adherence by pathogenic <i>Escherichia coli</i> Modulators of <i>vibrio cholerae</i> predator interaction

	<p>柴 孝也(東京慈恵会医科大学)</p> <p>王 宝禮(大阪歯科大学)</p> <p>公文 裕巳(岡山大学)</p>	<p>and virulence</p> <p>Biofilm と臨床 –Biofilm が臨床現場に及ぼす影響について–</p> <p>歯周病治療におけるアジスロマイシン投与の考え方 ～歯周病抗菌療法の診療ガイドランをふまえて～</p> <p>岡山大学泌尿器科における Biofilm 研究とその展開</p>
第 26 回	山口 明人(大阪大学)	細菌のバイオフィルム形成と薬剤耐性機構
第 27 回	<p>笹川 千尋(一般財団法人 日本生物科学研究所・千葉大学真菌医学研究センター)</p> <p>木暮 一啓(東京大学 大気海洋研究所)</p>	<p>赤痢菌の腸管感染における自然免疫の克服戦略</p> <p>海洋微生物の生残戦略</p>
第 28 回	<p>舘田 一博(東邦大学)</p> <p>若林 裕之(森永乳業株式会社)</p>	<p>臨床的視点で考えるバイオフィルム研究の方向性</p> <p>ラクトフェリンによる感染症の予防効果</p>
第 29 回	<p>Richard Peters Darvear (University of Washington)</p> <p>竹田 美文(野口英世記念会)</p>	<p>Periodontal Health is just as complicated as Disease</p> <p>Viable but non-culturable (VBNC) <i>vibrio cholerae</i></p>
第 30 回	<p>中山 一誠((元)日本大学)</p> <p>林 哲也(九州大学)</p> <p>岡本 好正(花王株式)</p>	<p><i>Biofilm</i> 感染症 – an Overview –</p> <p>ゲノムからみる病原細菌の菌種内多様性： 大腸菌を中心として</p> <p>バイオフィルムに負けない高度衛生管理 ～実現場で効く薬剤～</p>
第 31 回	<p>福崎 智司(三重大学)</p> <p>福田 真嗣(慶応義塾大学、JST さきがけ、神奈川県立産業技術総合研究所、株式会社メタジェン)</p> <p>稲葉 英樹(住友重機械エンバイロメイト株式会社)</p>	<p>次亜塩素酸の界面挙動を利用した各種施設環境の微生物制御</p> <p>腸内微生物生態系の制御による新たな疾患予防・治療戦略</p> <p>排水処理における微生物群集制御</p>
第 32 回	常田 聡(早稲田大学 先進理工学部)	バイオフィルムのシステムの理解と制御
第 33 回	<p>太田 啓介(久留米大学)</p> <p>E. Peter Greenberg (University of Washington)</p>	<p>細胞が織りなすメソスケール空間の3次元直接観察</p> <p>Quorum sensing control of sociality in bacteria</p>
第 34 回	<p>藤井 雅寛(新潟大学大学院医歯学総合研究科 ウイルス学)</p> <p>藤江 昭彦(日本医療研究開発機構 (AMED) 創薬戦略部)</p> <p>竹田 潔(大阪大学大学院医学研究科 免</p>	<p>ウイルス研究は面白い;ウイルス性神経疾患に基づいたパーキンソン病の発症機構の解析</p> <p>感染症領域の創薬研究を活性化するには–製薬企業の創薬研究経験に基づく創薬ブースターの活用について</p> <p>腸内細菌叢と宿主の相互作用機構</p>

	<p>疫制御学)</p> <p>本間 道夫(名古屋大学大学院理学研究科 超分子機能学)</p>	<p>日本で発見されたナトリウムイオン流で回転するべん毛モーター蛋白質</p>
第 35 回	<p>岩野 英知(酪農学園大学獣医学類獣医生化学ユニット)</p> <p>立石 善隆(新潟大学 医学部 細菌学)</p> <p>仲上 豪二郎(東京大学大学院医学系研究科老年看護学/創傷看護学分野 医学系研究科附属グローバルナーシングリサーチセンター)</p> <p>後藤 憲志、渡邊 浩(久留米大学 感染制御学講)</p> <p>掛屋 弘(大阪市立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学)</p>	<p>ファージセラピーの開発の現状と実用化への課題</p> <p>結核・非結核性抗酸菌におけるバイオフィルムバイオフィルムをターゲットにした次世代の難治性創傷管理戦略</p> <p>臨床で問題となるバイオフィルム関連感染症</p> <p>Unmet medical needs in biofilm diseases ～臨床の現場から～</p>
第 36 回	<p>Nobuhiko Nomura (University of Tsukuba, Japan)</p> <p>Shinya Sugimoto (The Jikei University School of Medicine, Japan)</p> <p>青柳 哲史(東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)</p> <p>尾花 望(筑波大学 医学医療系 トランスボーダー医学研究センター)</p> <p>落谷 孝広(東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門)</p> <p>山口 哲央(東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)</p> <p>常田 聡(早稲田大学先進理工学部 生命医科学科)</p> <p>岩野 英知(酪農学園大学 獣医学類 獣医生化学ユニット)</p> <p>青木 一晃(bitBiome 株式会社)</p>	<p>Biofilms and membrane vesicles</p> <p>Development of a new optical clearing method to visualize biofilms</p> <p>Microparticles の感染症病態における役割: 内包される IL-36 サイトカインを中心に細菌が能動的に産生する細胞外膜小胞</p> <p>がんや感染症領域におけるエクソソーム研究の新展開</p> <p>臨床で問題となるバイオフィルム—黄色ブドウ球菌感染症—</p> <p>バイオフィルムの各形成段階における制御技術</p> <p>細菌感染症におけるバクテリオファージとエンドライシンの可能性と課題</p> <p>ファージ由来タンパク質”エンドライシン”の細菌感染症治療薬への応用</p>
第 37 回	<p>Hyun Michel Koo (Department of Orthodontics, Divisions of Pediatric Dentistry &amp; Community Oral Health, School of Dental Medicine, University of Pennsylvania)</p>	<p>New discoveries in biofilm biogeography and interkingdom interactions?</p>

	<p>寺田 昭彦(東京農工大学大学院工学研 究院 応用化学部門)</p> <p>平川 秀忠(群馬大学医学部)</p> <p>仲野 道代(岡山大学歯学部)</p> <p>伊藤 龍朗(日本大学松戸歯学部)</p>	<p>Leveraging redox stratification in biofilm for energy-saving wastewater treatment and greenhouse gas mitigation</p> <p>Microcolony formation and pathogenicity of uropathogenic <i>Escherichia coli</i> (UPEC) in host cells</p> <p>Role of membrane transporters in oral biofilms</p> <p>Cariogenic cross-kingdom biofilm: <i>Candida</i> association with childhood caries and current nanotherapeutic approaches</p>
--	--	--